

# 標準仕様書

## エコパッキン長尺

EPL-102SP

EPL-120

EPL-150

年 月 日

建築主	住所	
	氏名	印
施工者	住所	
	氏名	印



株式会社キタイ製作所

KITAI  
MANUFACTURER

# エコパッキン長尺 標準仕様書

- 本仕様書は軸組工法及び枠組工法にエコパッキン長尺を使用する際に基準となる施工要領を示すものです。必ず本仕様書並びに製品に同梱されております施工説明書に従って設計・施工を行って下さい。
- 本仕様書に記載のない内容につきましては、建築基準法並びに同施工例及び住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に従って施工して下さい。
- 本仕様書に記載された使用取扱い条件を逸脱した本製品の使用の場合は、本製品に関する性能・品質及び構造体の安全性について保証できません。

## 目次

1：適用範囲	2 P
2：構成部材	2 P
3：性能諸元	3 P
4：設計上の注意	3 P
5：施工の注意	4 P
6：施工方法	4 P
6-1：調整方法	4 P
①スライド機構による調整	4 P
②回転(180度)による調整	4 P
③スリットによる調整	5 P
7：設置例	6 P
8：調整板の取付け方法	7 P
9：防鼠材・水切りの施工について	7 P
10：製品納まり例	7 P
11：安全性確認資料	8 P
11-1：鉛直荷重に対する許容耐力	8 P
11-2：めり込み許容耐力	9 P



構成部材			
型番	EPL-102SP	EPL-120	EPL-150
寸法 (mm)	940(910)×102×20	940(910)×120×20	940(910)×150×20
重量 (g)	約 525	約 780	約 1010
材質	再生ポリプロピレン複合樹脂		
対応土台	軸組工法	105角・120角	135角・150角
	枠組工法	404材	406材
通気面積	cm <sup>2</sup> /本	約 79.5	約 74.4
	cm <sup>2</sup> /4m	約 337.3	約 319.0
梱包	20本/ケース		10本/ケース

### 3：性能諸元

圧縮強度	JIS K 7181	37.6MPA
曲げ強度	JIS K 7171	33.6MPA
曲げ弾性率	JIS K 7171	2118MPA
衝撃強度	JIS K 7111-1	5.2KJ/m <sup>2</sup>
耐薬品性	JIS K 7114	外観変化ナシ

### 4：設計上の注意

- ・エコパッキン長尺は必ず基礎と土台の間に入れて下さい。
- ・エコパッキン長尺を鉄骨造には使用しないで下さい。
- ・エコパッキン長尺は防鼠機能を兼ね備えていますので、防鼠材は使用しないで下さい。
- ・基礎は住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に定められた基礎と同等以上の布基礎またはべた基礎(立ち上がり有するもの)として下さい。
- ・アンカーボルトは住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に基づき埋設して下さい。
- ・防腐・防蟻処理は建築基準法や住宅金融支援機構監修の木造又は枠組壁工法住宅工事仕様書((財)住宅金融普及協力発行)と同等以上の共通仕様書に準じて必ず行って下さい。
- ・布基礎の立ち上がり部の切り欠け開口部は不要です。但し、内部点検用の通路としての切り欠けは必要です。
- ・土台は下記の木材を使用して下さい。
  - ①日本工業規格 (JIS) に定める土台用加圧式防腐処理木材
  - ②日本農林規格 (JAS) に定める保存処理木材 (K1を除く)
  - ③認証木質建材 (AQマーク表示品) として認証された保存処理木材 (1種)
  - ④上記①～③と同等以上の防腐性能を持つ認められた木材
- ・アカマツ、クロマツ、ベイマツ及び広葉樹などのめり込み基準強度 $F_{cv}$ が $8.1\text{N}/\text{mm}^2$ を超える土台を使用する場合は構造確認を行って下さい。
- ・エコパッキン長尺の土台に対する使い分けは[構成部材]を参考にして下さい。
- ・エコパッキン長尺は隙間無く設置した場合、住宅金融支援機構監修の共通仕様書等に定められた開口面積 $300\text{cm}^2/4\text{m}$ を確保する事が可能ですので、通気孔を塞がないように注意して下さい。
- ・本仕様書は平屋及び2階建ての住宅を想定して作成しています。3階建ての住宅に使用する場合は構造計算を行い、軸力等を考慮して安全性を確認した上で使用して下さい。

## 5：施工の注意

- エコパッキン長尺は、突起がある面（土台面と記載）を上にして設置して下さい。
- ひび割れ等があるものは使用しないで下さい。
- エコパッキン長尺は位置ズレ防止の為、釘または接着剤で基礎あるいは土台に固定して下さい。
- アンカーボルトが土台の芯から外れて打設されてる場合には、エコパッキン長尺の長孔を利用して適切な位置にくるように調整して下さい。
- エコパッキン長尺は直射日光が当たる恐れのある箇所には、水切り等を取り付けて直射日光が当たらないようにして下さい。
- エコパッキン長尺と土台との間に隙間が生じる場合は、別売りの専用調整板を使用して下さい。
- 施工終了後は、施工説明書の「施工後の確認事項」に従ってご確認下さい。

## 6：施工方法

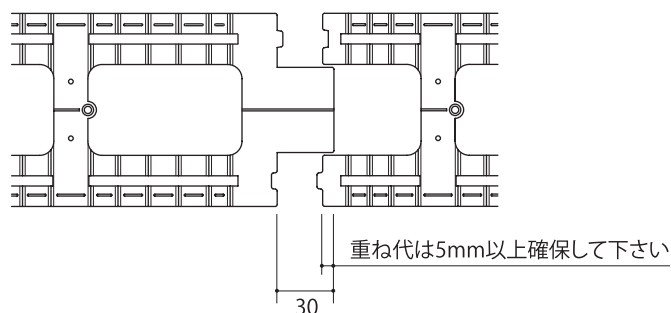
エコパッキン長尺は土台芯合わせとし、突起のある面を土台側として基礎全面に設置して下さい。  
また設置の際のホールダウン・アンカーボルトの位置調整に際しては、両サイドのスライド機構を用いての調整、エコパッキン長尺自体の180度回転による調整を行ってください。

（7. 設置例を参照）

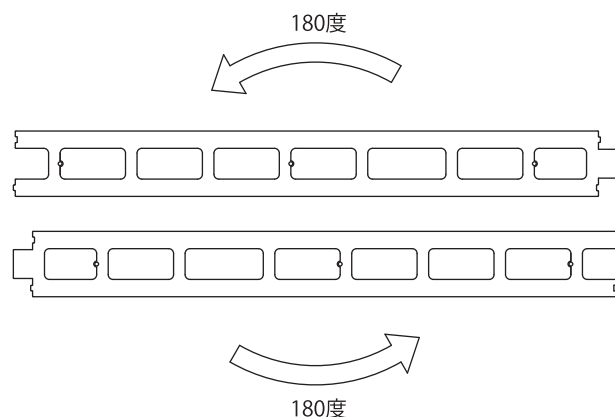
なお設置距離が910mm以下の場合においては、上面切断用スリットを用いて切断して調整して下さい。

### 6-1：調整方法

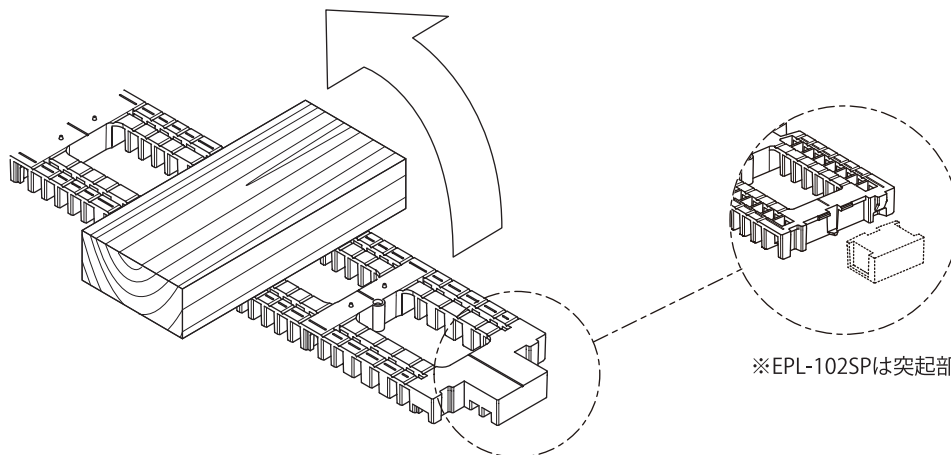
#### ①：スライド機構による調整



#### ②：回転(180度)による調整



③：スリットによる調整



※EPL-102SPは突起部分も切断可能です。

1. 切断位置を天面の切断用スリットを目安に決めて下さい。
2. 次に切断位置に当て木をして下さい。  
※ 目安にしているスリットが当て木で隠れたり、ずれたりしないように注意して下さい。
3. 矢印の方向にエコパッキン長尺を曲げるようにして切断して下さい。  
※ 当て木がずれないように押さえつけて下さい。
4. 切断後の設置は隣接されているエコパッキン長尺との隙間が出来ないように注意して下さい。  
※ 切断加工の際に切断位置と違う箇所にヒビ等があるものは使用しないで下さい。  
※ 切断したものを使用する際は、必ず2つ以上のブリッジで構成されているものを使用して下さい。



※ 左右非対称のものは使用しないで下さい。

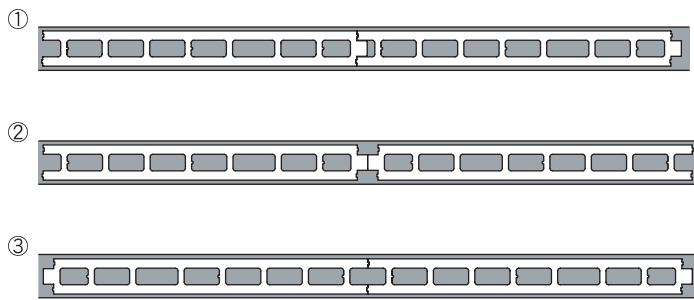


※ 切断の際には金槌等で不必要な衝撃を加えないで下さい。  
但し、電動ノコギリ等でカットしたものは使用頂けます。

## 7:設置例

エコパッキン長尺の設置は下記を参考にして下さい。

### ■直線部の設置

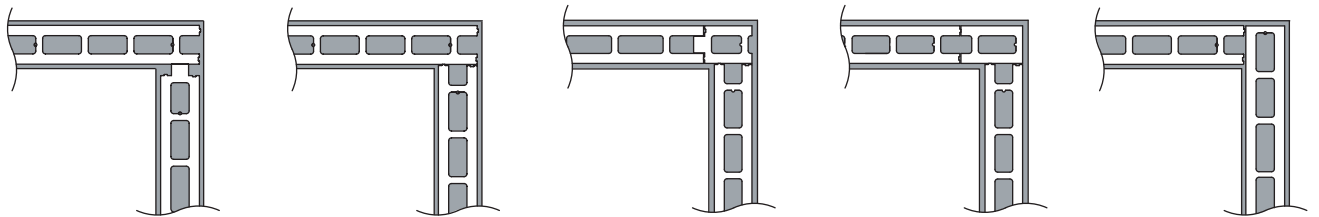


直線部は①②③のいずれかで設置が可能です。但し下記の内容を確認して設置して下さい。

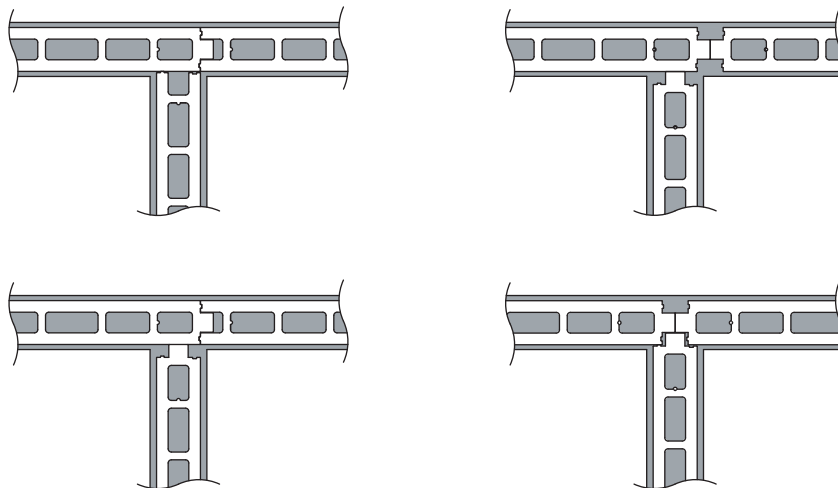
a:②で設置する場合は設置時のズレに注意して下さい。

b:アンカーボルトに対する位置調整については、①②③のように配列の調整をする事でアンカーホールのピッチを変更できます。また、スライド機構による調整、スリットによる調整でも対処可能です。

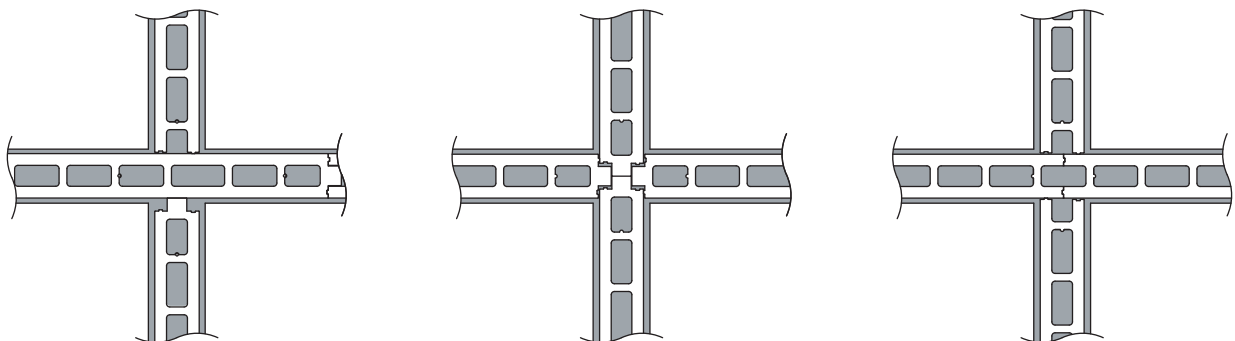
### ■L字部の設置例



### ■T字部の設置例



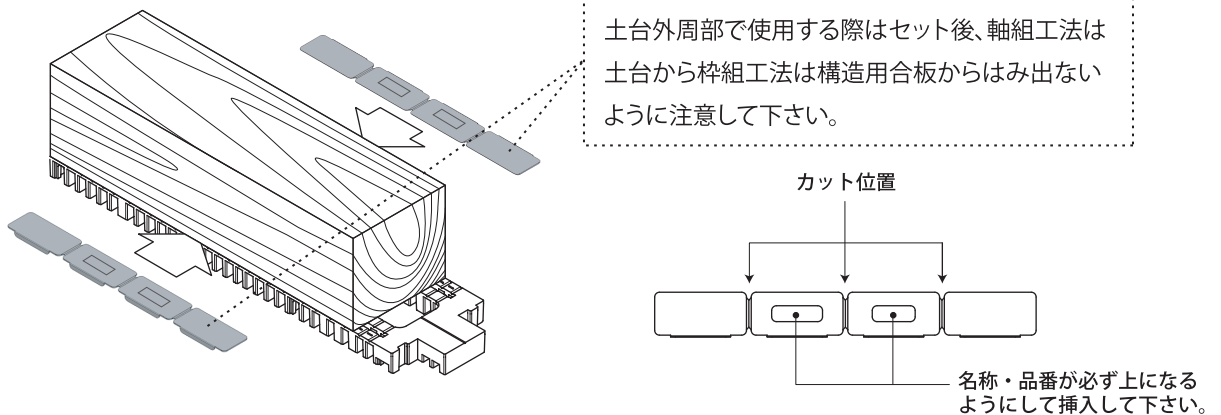
### ■十字部の設置例



直線部・L字部・T字部・十字部のいずれの場合にも設置時には、隣接しているエコパッキン長尺の間に隙間が出来ないように注意して下さい。

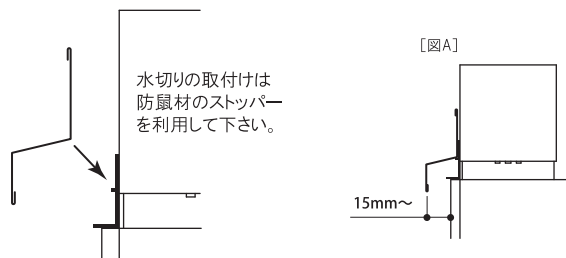
## 8：調整板の取付け方法

- ・エコパッキン長尺用の調整板は両側から挿入するタイプです。
- ・調整板は1mmと3mmの厚みがあります。
- ・調整板は必ず土台とエコパッキン長尺の間に挿入して下さい。
- ・隙間の大きいところは2枚合わせで使用して下さい。
- ・2枚合わせで使用する際はあらかじめ重ねてから挿入して下さい。
- ・調整板は4分割できるようになっております。隙間の状況に合わせてカットして御使用下さい。



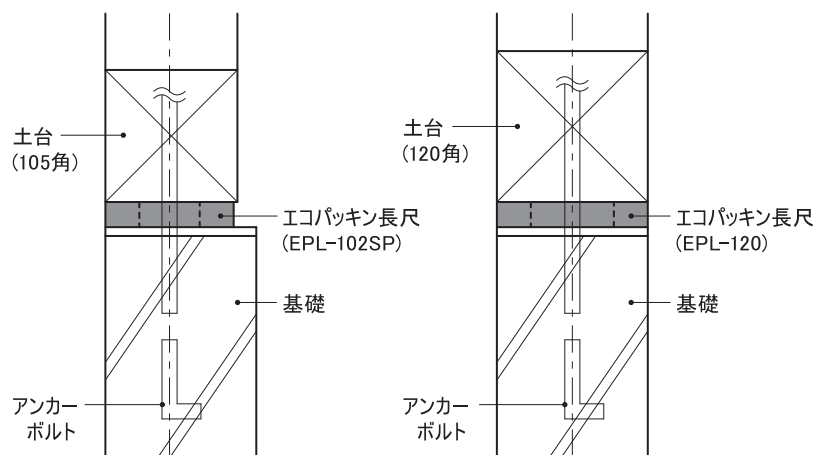
## 9：防鼠材・水切りの施工について

- ・エコパッキン長尺には防鼠効果がありますので、防鼠材は使用しないで下さい。
- ・水切り・防鼠付き水切りは軸組工法の場合は土台の外側に、枠組工法の場合は構造用合板の外側に取付けて下さい。
- ・水切りは455mmピッチ以内を目安にステンレス釘で取り付けて下さい。
- ・水切り・防鼠付き水切りは取付け後、エコパッキン長尺に直射日光が当たらないように注意して取付けて下さい。
- ・水切りを取付ける際は換気スリットを最低15mm確保して下さい。(図A参照)
- ・延焼の恐れがあり防火対策が必要な場合は、必ず金属製の水切りや防鼠付き水切りを使用して下さい。

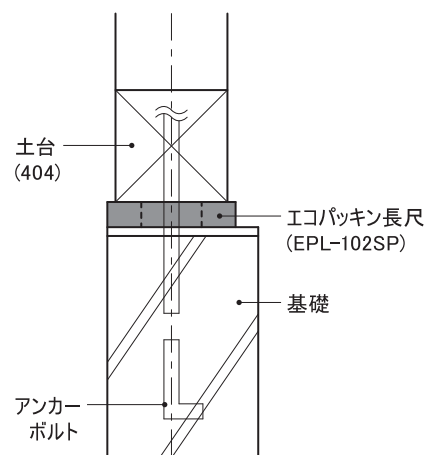


## 10：製品納まり例

### ■軸組工法



### ■枠組工法





1 1 : 安全性確認資料

3階建住宅に使用する場合、安全確認の為に以下の鉛直荷重に対する許容耐力とめり込み許容耐力を確認して下さい。

1 1 - 1 : 鉛直荷重に対する許容耐力

- ・エコパッキン長尺の圧縮荷重試験により求めた降伏値は下記の通り

	降伏荷重Pf	備考
EPL-102SP	445.4KN	(一財)日本品質保証機構 試験報告書No1017-0373
EPL-120	638.3KN	(一財)日本品質保証機構 試験報告書No1017-0293
EPL-150	849.4KN	(一財)日本品質保証機構 試験報告書No1017-0372

※降伏荷重Pfは試験により求められた降伏荷重の平均値

- ・軸組工法柱直下の荷重伝達範囲 (図1参照)

柱直下の荷重伝達範囲は、柱・土台幅をWとすると3Wとなる。

105角の場合の荷重伝達範囲は315mm

120角の場合の荷重伝達範囲は360mm

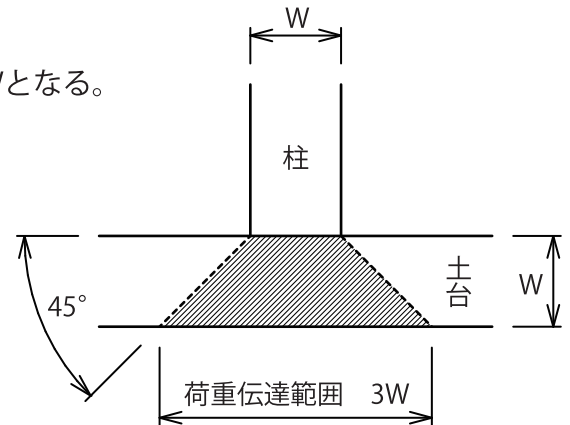


図1.軸組工法柱直下の荷重伝達範囲

- ・エコパッキン長尺の鉛直荷重に対する許容耐力

(単位:KN)

短期	軸組工法								枠組工法	
	105角		120角		135角		150角		404材	406材
	柱直下	壁下	柱直下	壁下	柱直下	壁下	柱直下	壁下	耐力壁下	耐力壁下
EPL-102SP	77.1	244.7	88.1	244.7	—	—	—	—	244.7	—
EPL-120	110.5	350.7	126.3	350.7	—	—	—	—	350.7	—
EPL-150	—	—	—	—	189.0	466.7	210.0	466.7	—	466.7

長期	軸組工法								枠組工法	
	105角		120角		135角		150角		404材	406材
	柱直下	壁下	柱直下	壁下	柱直下	壁下	柱直下	壁下	耐力壁下	耐力壁下
EPL-102SP	38.5	122.4	44.1	122.4	—	—	—	—	122.4	—
EPL-120	55.2	175.4	63.1	175.4	—	—	—	—	175.4	—
EPL-150	—	—	—	—	94.5	233.3	105.0	233.3	—	233.3

※柱直下 主要な柱1カ所に掛かる鉛直荷重に対する許容耐力

(エコパッキン長尺1本当たりの許容耐力×3W×910)

※壁下(耐力壁下) 1m当たりの耐力壁に均等に掛かる鉛直荷重に対する許容耐力

(エコパッキン長尺1本当たりの許容耐力×1000/910)

## 1 1-2：めり込み許容耐力

### ・エコパッキン長尺1本当たりの土台との接面積

	土台					
	105角	120角	135角	150角	404材	406材
EPL-102SP	346.0	346.0	—	—	264.3	—
EPL-120	423.1	528.1	—	—	313.2	—
EPL-150	—	—	580.6	685.6	—	615.6

(単位：cm<sup>2</sup>)

### ・母(めり込み許容応力196N/cm<sup>2</sup>)に対するめり込み許容耐力

(単位：KN)

短期	軸組工法												枠組工法	
	105角			120角			135角			150角			404材	406材
	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	耐力壁下	耐力壁下
EPL-102SP	67.8	23.5	74.5	67.8	26.8	74.5	—	—	—	—	—	—	56.9	—
EPL-120	82.9	28.7	91.1	103.5	40.9	113.7	—	—	—	—	—	—	67.5	—
EPL-150	—	—	—	—	—	—	113.8	50.6	125.1	134.4	66.5	147.7	—	132.6

長期	軸組工法												枠組工法	
	105角			120角			135角			150角			404材	406材
	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	耐力壁下	耐力壁下
EPL-102SP	33.9	11.7	37.3	33.9	13.4	37.3	—	—	—	—	—	—	28.5	—
EPL-120	41.5	14.4	45.6	51.8	20.5	56.9	—	—	—	—	—	—	33.7	—
EPL-150	—	—	—	—	—	—	56.9	25.7	62.5	67.2	33.2	73.8	—	66.3

### ・桧(めり込み許容応力245N/cm<sup>2</sup>)に対するめり込み許容耐力

(単位：KN)

短期	軸組工法												枠組工法	
	105角			120角			135角			150角			404材	406材
	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	耐力壁下	耐力壁下
EPL-102SP	84.7	29.3	93.1	84.7	33.5	93.1	—	—	—	—	—	—	71.2	—
EPL-120	103.7	35.9	113.9	129.4	51.2	142.2	—	—	—	—	—	—	84.3	—
EPL-150	—	—	—	—	—	—	142.2	63.3	156.3	168.0	83.1	184.6	—	165.7

長期	軸組工法												枠組工法	
	105角			120角			135角			150角			404材	406材
	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	1本相当	柱直下	壁下	耐力壁下	耐力壁下
EPL-102SP	42.4	14.7	46.6	42.4	16.8	46.6	—	—	—	—	—	—	35.6	—
EPL-120	51.8	17.9	57.0	64.7	25.6	71.1	—	—	—	—	—	—	42.2	—
EPL-150	—	—	—	—	—	—	71.1	31.7	78.2	84.0	41.5	92.3	—	82.9

※1本相当 エコパッキン長尺1本当たりのめり込み許容耐力

※柱直下 主要な柱1カ所に掛かる鉛直荷重に対する許容耐力

(エコパッキン長尺1本当たりのめり込み許容耐力(=1本相当)×3W×910)

※壁下(耐力壁下) 1m当たりの耐力壁に均等に掛かる鉛直荷重に対する許容耐力

(エコパッキン長尺1本当たりのめり込み許容耐力(=1本相当)×1000/910)

製造元



KITAI  
MANUFACTURER

# 株式会社キタイ製作所

本 社 工 場 〒538-0041 大阪府大阪市鶴見区今津北4丁目10番1号  
TEL(06)6968-2921 FAX(06)6968-2926  
東 京 営 業 所 〒130-0005 東京都墨田区東駒形2丁目13番10号ルミエール逆井101号  
TEL(03)5608-5471 FAX(03)5608-5473

ISO9001:2015 認証取得 / ISO14001:2015 認証取得  
本社・本社工場 / <https://www.kitai-mfg.co.jp>



●製品の改良のため、事前の予告なしに仕様・外観の変更を行うことがあります。